

「平常時の広報活動」に係る活動の取り組み事例について

女川および東通原子力発電所 原子力事業者防災業務計画に定めている「周辺住民に対する平常時の広報活動」に係る広報活動実績を以下のとおり報告する。具体的な活動実績は添付資料に示す。

①放射性物質および放射線の特性

- ・ 訪問活動による情報提供
- ・ 発電所見学や視察による情報提供
- ・ ホームページ等による情報提供

<https://www.tohoku-epco.co.jp/electr/genshi/safety/qa/q4.html>

②原子力事業所の概要

- ・ 訪問活動による情報提供
- ・ 発電所見学や視察による情報提供
- ・ ホームページ，広報誌等による情報提供

<https://www.tohoku-epco.co.jp/electr/genshi/safety/pamphlet/>

<https://www.tohoku-epco.co.jp/electr/genshi/safety/onagawa/index.html>

<https://www.tohoku-epco.co.jp/electr/genshi/safety/higashi/index.html>

③原子力災害とその特殊性

- ・ 訪問活動による情報提供
- ・ 発電所見学や視察による情報提供
- ・ ホームページ，広報誌等による情報提供

<https://www.tohoku-epco.co.jp/electr/genshi/safety/safety/index.html>

<https://www.tohoku-epco.co.jp/electr/genshi/safety/onagawa/summary.html>

<https://www.tohoku-epco.co.jp/electr/genshi/safety/higashi/summary.html>

④原子力災害発生時における防災対策の内容

- ・ 訪問活動による情報提供
- ・ 発電所見学や視察による情報提供
- ・ ホームページ等による情報提供

<https://www.tohoku-epco.co.jp/electr/genshi/safety/safety/contents.html>

⑤原子力発電所の状況に応じた緊急事態の考え方

- ・ 訪問活動による情報提供
- ・ 発電所見学や視察による情報提供
- ・ ホームページ等による情報提供

<https://www.tohoku-epco.co.jp/electr/genshi/safety/onagawa/pdf/summary01.pdf>

<https://www.tohoku-epco.co.jp/electr/genshi/safety/higashi/pdf/summary01.pdf>

女川および東通原子力発電所に係る周辺住民に対する平常時の広報活動実績について

実施項目 【区分番号】	2023年度 (2023.3~2023.10)	
訪問活動・見学会	訪問活動 【①, ②, ③, ④】	<女川地域> 女川町・石巻市(旧牡鹿町)内関係先 (計画戸数 3,800 戸) 2023年 7~8月 3,728 戸 <東通地域> 東通村内関係先 (計画戸数 2,300 戸) 2023年 5~6月 2,234 戸
	訪問活動 【①, ②, ③, ④, ⑤】	<女川地域> 1. 警察関係者 2023年 6月 46人 2. 石巻市内の介護施設 (放射線防護対策施設) 2023年 7月 施設職員 15人
	発電所見学・視察 【①, ②, ③, ④】	<女川地域> 61団体 862人 (出前授業 1回 地元小学校) <東通地域> 22団体 364人
	発電所見学(VR見学会) 【①, ②, ③, ④, ⑤】	<女川地域> 宮城県内4市町の首長および職員 2023年 8~10月 76人
情報公開	ホームページ公開 【①, ②, ③, ④, ⑤】	<女川・東通地域共通> エネルギーのるるる 原子力のはなし (放射線ってどんなもの?) <女川地域> 女川原子力発電所の紹介 安全対策実施状況 リアルタイムデータ 廃止措置に関する情報 「原子力災害対策充実に向けた考え方」に係る取り組みについて <東通地域> 東通原子力発電所の紹介 安全対策実施状況 リアルタイムデータ 「原子力災害対策充実に向けた考え方」に係る取り組みについて
	広報誌 【②, ③】	<女川地域> 「東北電力からのお知らせ」 2回 「発電所だより」 8回 <東通地域> 「PSつうしん」 8回

実施項目 【区分番号】		2023年度 (2023.3~2023.10)
情報公開	パンフレット・動画 【②, ③, ④】	<p><女川地域> 【動画】 女川原子力発電所の安全性向上に向けた取り組み バーチャル見学 【パンフレット】 女川原子力発電所の概要</p> <p><東通地域> 【動画】 東通原子力発電所における安全性向上への取り組み バーチャル見学 【パンフレット】 東通原子力発電所1号機の概要</p>
	原子力に関する資料の公開 【①, ②, ③, ④, ⑤】	<p><女川地域> 原子力情報コーナー（本店, 女川原子力発電所PRセンター, 地域総合事務所）での閲覧 ・原子力事業者防災業務計画 ・原子炉設置変更許可申請書 等</p> <p><東通地域> 原子力情報コーナー（本店, トントウビレッジ）での閲覧 ・原子力事業者防災業務計画 ・原子炉設置変更許可申請書 等</p>

【区分番号】①放射性物質および放射線の特性

②原子力事業所の概要

③原子力災害とその特殊性

④原子力災害発生時における防災対策の内容

⑤原子力発電所の状況に応じた緊急事態の考え方

資 料

1. 訪問活動

○女川地域

- ・東北電力からのお知らせ 2023年7月
- ・発電所だより 2023年6月号
- ・住民のみなさまの避難に対する事業者の役割

○東通地域

- ・日頃のご理解とご協力に心より感謝申し上げます 2023年5月

2. 広報誌

○女川地域

- ・東北電力からのお知らせ vol. 29
- ・発電所だより 2023年10月号

○東通地域

- ・PSつうしん 2023年10月8日

東北電力からのお知らせ



地域の皆さまには、日頃より女川原子力発電所の運営にご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

2024年2月の再稼働に向け、女川原子力発電所2号機については、本年11月に安全対策工事の完了を目指しております。現在、発電所では、所員と協力企業従業員を合わせた約5,500名が、安全確保に留意しながら、工事完了に向けて懸命に作業を行っています。

また、安全対策工事と並行して使用前事業者検査や様々な教育訓練も行っており、再稼働とその後の安全な発電所の運転に向けた準備もしっかり進めています。

女川原子力発電所2号機の再稼働については、単なる再稼働ではなく、地域との絆を強め、新たに生まれ変わるとの決意を込めて「再出発」と位置付けています。「安全に終わりはない」という強い信念のもと、安全確保を最優先に、女川原子力発電所のさらなる安全レベル向上に取り組んでまいります。

発電所の運営にあたりましては、地域の皆さまからのご理解が何よりも大切であると考えております。皆さまに安心を感じていただけるよう、分かりやすく丁寧な情報発信に努めるとともに、高い信頼をいただける発電所となれるよう、地域の皆さまとのコミュニケーション充実に誠心誠意努めてまいります。

2023年7月
女川原子力発電所長
あべ まさのぶ
阿部 正信



安全対策工事が進む女川原子力発電所の全景(2023年2月撮影)

女川2号機の再稼働に向けた取り組み

女川2号機は、原子力規制委員会より、2013年12月に申請した新規制基準に係る「原子炉設置変更許可※1」、「工事計画認可※2」、「保安規定変更認可※3」の許認可をいただき、現在は、2024年2月と想定している「再稼働」に向けて、11月の安全対策工事完了と使用前事業者検査・使用前確認※4への対応や教育訓練の実施など様々な準備を進めています。

※1 原子炉施設に係る基本設計および体制の整備などの基本方針に係るもの ※2 原子炉施設の詳細設計に係るもの ※3 保安規定変更認可については、2月22日の関連基準の改正に伴う変更認可を3月8日に原子力規制委員会に申請し、現在、審査に対応しています。 ※4 使用前事業者検査が適切に実施され、終了していることを原子力規制委員会が確認するもの



「女川NPS※フォトコンテスト写真展示会」のご案内について

牡鹿半島(女川町・旧牡鹿町)で発電所勤務者が撮影した写真を募集してフォトコンテストを実施しております。寄せられた作品を通して、牡鹿半島の素晴らしい絶景や隠れた観光スポットの情報を発信し、地域との結びつきをより一層高めてまいりたいと考えております。

下記のとおり地域総合事務所にて展示会を実施し、8月には女川原子力PRセンターにて展示会を計画しておりますので、皆さまのお越しをお待ちしております。

※NPS…Nuclear Power Station(原子力発電所)の略

開催期間 7月24日(月)～30日(金) 10時～16時
開催場所 地域総合事務所



2022年の女川NPS賞
「車窓が輝く黄昏時に」



当社ホームページ「バーチャル女川原子力発電所」では、発電所構内や建屋内部の様子を◀3Dグラフィックや360度画像で紹介しています。ぜひご覧ください。

女川原子力発電所 〒986-2293 牡鹿郡女川町塚浜字前田1 ☎0225-53-3111
 女川原子力PRセンター 〒986-2221 牡鹿郡女川町塚浜字前田123 ☎0225-53-3410
 地域総合事務所 〒986-2265 牡鹿郡女川町女川2丁目15-1 ☎0225-54-3387



より、そう、ちから。

東北電力

ご意見受付用
メールアドレス

s.jimusyo.ah@tohoku-epco.co.jp

～地域の皆さまに信頼され、ご安心いただける発電所を目指して～



《女川原子力発電所2号機の安全対策工事の進捗状況を紹介します》

当発電所では、2号機の安全対策工事について、本年11月の完了を目指して鋭意取り組んでいます。今回は、発電所構内の安全対策工事の進捗状況をご紹介します。

防潮堤 ▶ 津波対策

- 最新の知見などを踏まえ、発電所に到達する津波の高さを23.1mと評価し、国内最大級の海拔29m、総延長約800m(鋼管式鉛直壁：約680m、盛土式の堤防：約120m)の防潮堤を設置します。
- 現在は、盛土式の堤防の設置工事を実施しています。

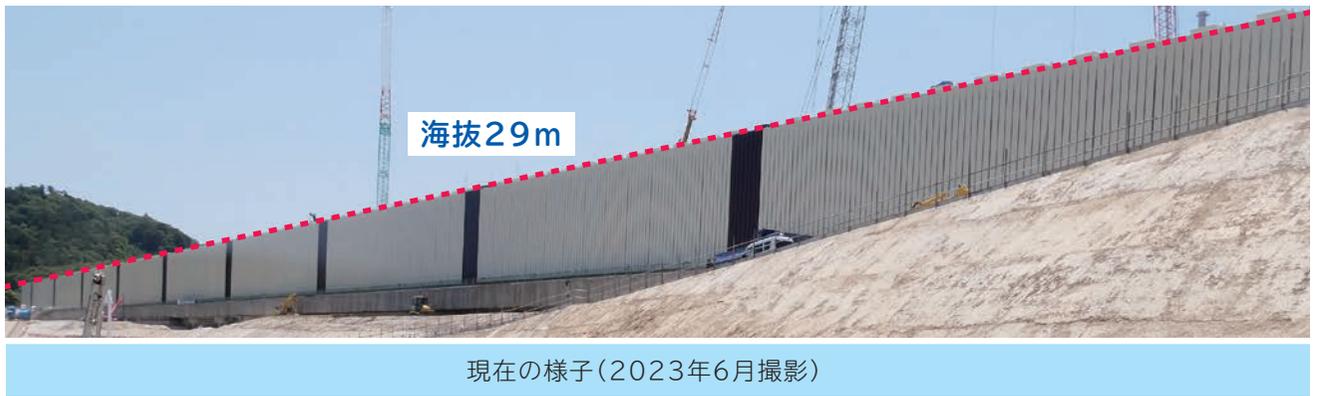
工事の推移



海拔17m
海拔17mの防潮堤 (2012年9月撮影)

鋼管式鉛直壁設置工事 (2015年4月撮影)

盛土式の堤防設置工事 (2023年6月撮影)



海拔29m
現在の様子(2023年6月撮影)

発電所では、今回紹介した他にも、様々な安全対策工事を行っています。詳細は当社ホームページにてご紹介しています。



緊急時対策建屋 ▶ 緊急時の指揮所機能の強化

- 大規模な原子力災害が発生した際の現地対策本部となる建屋を津波の影響を受けにくい海拔約60mの高台に設置します。
- 現在は、建屋内の大型モニターなどの電子機器類の整備を進めています。

工事の推移



基礎設置工事 (2018年12月撮影)

緊急時対策建屋(外観) (2023年1月撮影)

建屋内の様子 (2023年6月撮影)

ガスタービン発電設備(緊急用電気品建屋) ▶ 電源確保の多様化

- 送電線を介して送られてくる電気や発電所内の非常用ディーゼル発電機が使えなくなった場合に備え、海拔約60mの高台に設置します。
- 現在は、建屋内の電気系統の工事を実施しています。

工事の推移



緊急用電気品建屋の建設工事 (2021年5月撮影)

緊急用電気品建屋内にガスタービン発電設備を設置 (2023年1月撮影)

現在の様子 (2023年5月撮影)

※ガスタービン発電設備は発電機と制御車で構成

《「ローズガーデンフェア2023」を開催中》

女川原子力PRセンターでは、現在「ローズガーデンフェア2023」を開催中です。ご来場いただいたお客さまには、バラのトンネルなどを背景とした記念撮影と写真のプリントサービスも行っています。約110種類のバラが色鮮やかに咲き誇っていますので、ぜひ、皆さまお誘いあわせのうえお越しください。

開催期間
6月30日(金)まで

入場
無料

おすすめのバラを紹介します!

バラと一緒に記念撮影
写真のプリントサービス付き♪



「イングリットバーグマン」

光沢のある赤色と端正な花容が特徴で、10~12cmほどの大輪を咲かせます。

登録品種だけで4万品種以上あると言われるバラの中でも、18品種しか選ばれていない「バラの殿堂」の1つでもある美しい花です。

《「いもフェス2023」の参加者を募集します》

女川原子力PRセンター敷地内の果樹園で育てた「じゃがいも」の収穫体験イベント「いもフェス2023」を開催します。ぜひ、ご家族でお申し込みください。

日時

2023年7月15(土)、16日(日)

午前の部:10:30~11:30 / 午後の部:14:00~15:00

※じゃがいも掘り40分、PRセンター見学20分を予定

会場

女川原子力PRセンター

対象

小学生以下の児童とその保護者

定員

各回20名さま(児童・保護者の合計人数)

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

申込締切

7月5日(水)

抽選結果

7月7日(金)までにメールでお知らせいたします。

参加費無料

お申込みはこちら



当日の様子を撮影させていただき、当社の広報媒体・SNSなどで使用させていただく場合がありますのでご了承ください。

雨天の場合は、「PRセンター見学」のみ開催いたします。終了後、じゃがいもをプレゼントいたします(小雨決行)。

イベントへの
お問い合わせ
お申込み先

女川原子力PRセンター (〒986-2221 女川町塚浜字前田123)

開館時間 9:30~16:30
(毎月第3月曜日は休館日)

電話番号 0225-53-3410

《環境美化活動を実施しました》

5月17日、発電所員38名で、発電所周辺の道路(県道41号線:発電所~前網浜間の約4km)の環境美化活動を行いました。

当日は、道路脇に捨てられた空き缶やペットボトルなどを分別しながら約30袋のごみを拾い集めました。

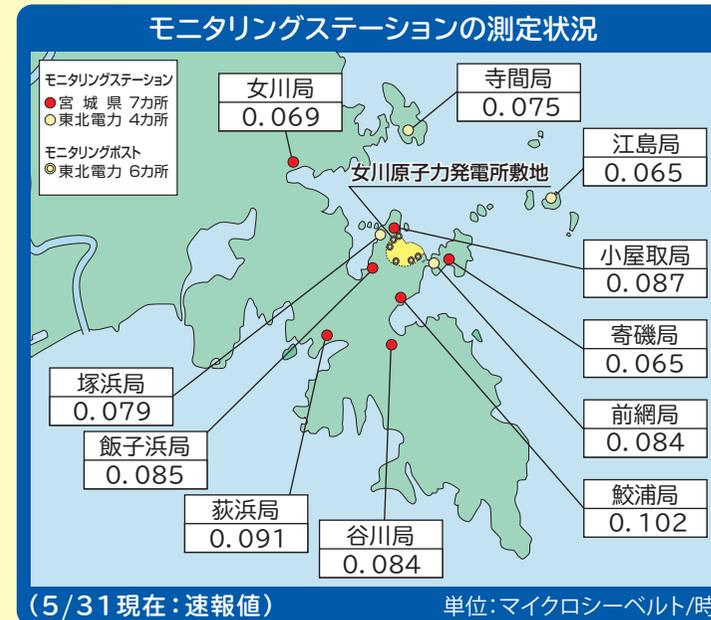


道路脇のごみを分別しながら拾い集める発電所員

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの2023年5月31日の測定値は、最大で0.046マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



(参考)モニタリングポストの
最小値と最大値※3

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	測定値
2011年3月11日	0.027~0.064
〈地震発生後最大値〉	
2011年3月13日	1.8~21*4
〈地震発生から2年と 至近2年の(4/1)値および前月値〉	
2012年4月1日	0.063~0.098
2013年4月1日	0.055~0.076
2022年4月1日	0.033~0.045
2023年4月1日	0.034~0.046
2023年5月1日	0.034~0.055
2023年5月31日	0.034~0.046

単位:マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02~0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。再生紙を利用しています



1. 住民のみなさまの避難に対する事業者の役割

- 原子力災害が発生した場合、発電所周辺に居住されている住民のみなさまの避難については、地域ごとに設置された地域原子力防災協議会での議論を踏まえ原子力防災会議において承認されたエリア毎の「緊急時対応(広域避難計画)」に基づき、事業者として最大限の支援・協力を行います。

PAZ・UPZ対象エリア



※原子力発電所から5km圏内を通過しないと避難できない区域
地図はCraft MAPより引用

【PAZ, UPZ内の避難対象者数(概数)】

単位:人

	PAZ	UPZ
女川町	520 (準PAZ※含む)	5,540
石巻市	2,680 (準PAZ※含む)	137,380
登米市	—	10,210
東松島市	—	36,830
涌谷町	—	810
美里町	—	110
南三陸町	—	2,080
合計	3,200	192,960

(対象者数は、各市町の避難計画を基に概数を記載)

【女川地域の緊急時対応(2020年6月17日改定)における事業者の主な実施事項】

項目	具体的内容
輸送力に関する協力	福祉車両(14台), ヘリコプターの手配
避難退域時検査の支援	約600名の要員の支援
オフサイトセンターへの電源供給	電源車を手配しオフサイトセンターに電源を供給
放射線防護資機材の提供	原子力事業者間の支援により放射線防護資機材を提供 (サーベイメータ, タイベックスーツ等)
生活物資の提供	食料品:30,000食, 飲料水:20,000リットル, 毛布:1,000枚

2. 住民のみなさまの避難に対する事業者の役割(輸送力に関する協力)

- 原子力災害が発生した場合、最初にPAZ内に居住されている住民のみなさまの避難が開始されます。当社は、要支援者の方の避難に必要な福祉車両を提供いたします。
- また、PAZおよび準PAZにおいて、自然災害等により陸路および海路の避難経路が使用できない場合、ヘリコプターを確保し、空路避難を支援いたします。

【福祉車両】

- ・福祉車両((ストレッチャー・車椅子兼用車両)合計14台を提供。
(女川町5台, 石巻市9台)



【ヘリコプター】

- ・陸路および海路の避難経路が使用できない場合、ヘリコプターを確保し、空路避難を支援。



東北エアサービス(株)
(東北電力グループ)

3. 住民のみなさまの避難に対する事業者の役割(避難退域時検査の支援)

- UPZ内で空間放射線量率が高い区域の住民のみなさまが広域避難する際は、避難退域時検査を実施し、車両や住民のみなさまの放射性物質の付着の確認と除染を行います。
- 当社は、他の原子力事業者と連携し、避難退域時検査に必要な要員や資機材等を確保し支援いたします。



	名称	避難元等
①	南三陸町歌津総合支所	予備
②	南三陸町スポーツ交流村	南三陸町
③	中田総合体育館	予備
④	登米総合体育館	女川町・石巻市・登米市
⑤	迫川防災ステーション	登米市
⑥	豊里運動公園	石巻市
⑦	涌谷地区河川防災ステーション	涌谷町
⑧	涌谷スタジアム	石巻市
⑨	南郷体育館	石巻市・東松島市・美里町
⑩	美里町トレーニングセンター	予備
⑪	鷹来の森運動公園	石巻市・東松島市
⑫	大塩市民センター	予備
⑬	東松島市学校給食センター	東松島市
⑭	野蒜市民センター	東松島市
⑮	河南体育センター	予備
⑯	石巻市遊楽館	予備
⑰	春日パーキングエリア(上り)	予備
⑱	大郷町文化会館・自由広場	予備
⑲	鹿島台中央野球場	予備
⑳	東松島市役所鳴瀬庁舎・小野市民センター・小野地区体育館	東松島市

(宮城県記者発表資料(令和3年7月21日)より抜粋)

日頃のご理解とご協力に 心より感謝申し上げます

一日も早い再稼働を目指し、引き続き新規規制基準適合性審査への対応と安全対策工事にしっかりと取り組んでまいります。

これまでの対応状況について

当発電所 1号機については、2024年度の安全対策工事完了を目指し、「基準地震動」および「基準津波」の策定に向け、全力で新規規制基準適合性審査に対応しており、1つ1つ着実に審査項目をクリアしております。

審査項目		進捗状況	直近の審査会合	
基準地震動	地下構造	概ね審査済み (2020年6月 4日)		
	震源を特定して策定する地震動	プレート間地震	概ね審査済み (2021年4月23日)	
		海洋プレート内地震	概ね審査済み [注] (2021年5月14日)	
		内陸地殻内地震	概ね審査済み (2022年4月11日)	
	震源を特定せず策定する地震動	全国共通に考慮すべき地震動	審査中	2022年10月7日
		地域性を考慮する地震動	審査中	2022年10月7日
	基準地震動	今後審査	—	
年超過確率	今後審査	—		
基準津波	地震に起因する津波	連動型地震	概ね審査済み (2021年7月 9日)	
		連動型地震以外	概ね審査済み (2022年1月28日)	
	地震以外に起因する津波	概ね審査済み (2022年9月 2日)		
	地震に起因する津波と地震以外に起因する津波の組合せ	審査中	2022年9月2日	
	基準津波	今後審査	—	
	年超過確率	今後審査	—	

[注]2022年3月16日に発生した福島県沖地震を踏まえ追加説明予定

■ 基準地震動

原子力発電所の耐震設計において基準とする地震動であり、敷地周辺において発生する可能性がある最大の地震の揺れの強さを示すもの

■ 基準津波

原子炉施設の供用期間中（運転開始から廃炉までの間）に極めてまれではあるが、発生する可能性があるり、施設に大きな影響を与えるおそれがある津波

今後の対応について

地震・津波の審査をできる限り早期に終わることができるよう、引き続き効率的な説明に努めるとともに、プラント（設備）の審査に向け、先行プラントの動向や女川原子力発電所 2号機（宮城県）での審査を踏まえ、準備を進めてまいります。

●● 女川原子力発電所への派遣研修について ●●

当社女川原子力発電所 2号機は、再稼働に向けた安全対策工事や使用前事業者検査等の準備が大詰めを迎えております。

各種資料作成や点検・工事業務を支援するとともに、再稼働に向けた各種業務の経験を積むため、当発電所より女川原子力発電所へ所員を派遣し実務研修を実施しております。

本研修には、これまで延べ 28 名を派遣しておりますが、今後も継続し、再稼働に向けた知識、スキル、経験の習得に努めてまいります。



右から2人目が [] さん

派遣研修参加者の声



本研修中は、配管の新規設置に係る業務を支援し、全力で業務に取り組む仲間の姿を見て、再稼働に向けた工事が最終段階を迎えている現場の空気を肌で感じました。設備知識に留まらず、仲間の仕事に当たる姿勢にも大変刺激を受けました。本研修の経験を生かし、再稼働に向けた業務に励んでまいります。

私たちはこれからも、地域の皆さまとのふれあいを大切にしていまいります。

「東通村魅力伝わる写真コンテスト」受賞作品のご紹介

当社では、このほど、絵はがきプロジェクト「東通村魅力伝わる写真コンテスト」を開催しました。

本コンテストでは、東通村内にお住まいの方を対象に「東通村の冬」をテーマに写真を募集。

お寄せいただいた62点の作品の中から、地域の皆さまの投票により、優秀作品を6点選定しました。

受賞作品については、今後、絵はがきにして、東通村の魅力を村内外にPRしていく予定です。

「大晦日の両皇神社」
様



優秀賞

「冬のサーフィン」
様



優秀賞

「青き冬の霧」
様



優良賞

「メダマをつくる」
様



優秀賞

「2023 初日の出」
様



優良賞

おかげさまで「あがさいホール」と「プチマート東通店」がオープン1周年を迎えました！

昨年3月にオープンしたイベントホール「あがさいホール」が1周年を迎えました。

「ヒト・フ・ミライ(人の和・輪が未来をつくる)」を合言葉に、地域の皆さまと一体となったイベントを多数開催するなど、「賑わい」と「交流」の場として、ご利用いただいております。

4月に1周年を迎えた「プチマート東通店」とともに、地域の皆さまから一層親しまれる施設となるよう努めてまいります。



下北ジオパーク推進員
氏講演会 (3月21日)

あがさいホール
1周年記念
イベントより



「東通の郷土芸能と食を楽しむ会」
(3月26日 ※当社協賛イベント)



プチマート東通店1周年記念
イベント (4月27日)

これからも地域の皆さまから信頼される発電所を目指し、発電所および協力会社が一丸となって、より一層の安全性向上に努めるとともに、所員一人ひとりが東通村のさらなる発展に貢献できるよう行動してまいります。

地域の皆さまには、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



東北電力株式会社 東通原子力発電所

青森県下北郡東通村大字白糖字前坂下34-4

TEL (代表) 0175-46-2225

